



市立中央図書館
田中 千智

自動貸出機や授乳室など整備を進める

本にふれる きっかけを作りたい

市民に支えられている図書館

図書館は職員だけではなく、市民ボランティアの協力で運営しています。目の見えない人に読書を楽しんでもらえるように、音訳CDや点字本を作成する音訳や点訳のボランティア。子ども向けに行う絵本の読み聞かせや、本を探しやすいように整理整頓するボランティアなど。その活動が評価され、今まで3団体が市民賞「りんどろ賞」を受賞しました。市民の皆さんに支えられています。

ニーズに合わせて
利用できる環境を整備

図書館から遠い地域に住んでいる人でも気軽に利用できるサービスがあります。インターネット環境があれば、中央図書館のホームページから本の検索や予約、返却期限の延長などが可能。「電子図書館」は図書館に行かなくても開館時間に関係なく利用できます。

また、来館者のニーズに合わせて、窓口で本の貸出時間を短縮できる「自動貸出機」の導入や、子育て世代にも安心

Check!

近くの公民館で気軽に貸し出しや返却ができる

各公民館では、図書室を設け、閲覧や貸し出しを行っています。また、中央図書館とオンラインでつながっているので、図書の検索や予約が可能。開室日など、詳しくは各公民館へ。



市内の学校や園所など施設への団体貸し出し

1団体 200冊まで。8週間貸し出しすることができます。希望に沿って司書が本を選ぶセットパックサービスもあります。

して利用してもらったための「授乳室」の設置など、館内の環境整備も予定しています。図書館を通じて新たな発見をライフスタイルが多様化する中で、図書館を巡る環境が大きく変化しています。だからこそ、さまざまな人が手軽に図書館を利用できる方法を今後も考えていきます。本にふれることで、新しい世界や価値観、心に残る一冊に出会ってもらいたいです。

休館日や閉館時間でも 24 時間利用可能

いつでもどこでも 読書が気軽に楽しめる

令和2年8月からコロナ禍への対応と利便性向上を目的にスタートした電子図書館。4年8月には、学校と連携して、市内の小・中・特別支援学校に通う子どもは図書館カードが無くても、配布されたタブレットで利用できるようになりました。

電子図書館は、パソコンやスマートフォン、タブレット端末で電子書籍の読書や貸し出し、返却を24時間利用できます。市の図書館カードがあれば、市在住・在学・在勤の人は誰でも利用可能。一度に3冊まで借りられ、貸出期間は2週間です。自動で返却されるため、返し忘れもありません。貸し出し中であっても予約が可能です。

詳しくは、電子図書館の利用案内で確認してください。



集 読書のカタチを選ぶ

読書の秋。1冊の本との出会いがその後の人生に影響を与えることがあります。本が好きな人も普段読まない人も、この機会に本を読んでみませんか。中央図書館では、紙だけではなく、電子図書館でも読書が楽しめます。また、読書のバリアフリー化の視点から、点字本や音声化した資料、大きな活字の本も楽しめます。この特集では、本にふれてもらうための取り組みや、実際に図書館を支えている人たちの声を紹介いたします。

問い合わせ
中央図書館 ☎ 072(755)2424

中央図書館の
ホームページは
こちら



最近、本を読んだり図書館に行ったりしましたか。近年は、電子メディアの普及に伴い、紙媒体離れが進んでいるといわれています。また、コロナ禍で在宅勤務が進んだり、娯楽や余暇の過ごし方が変化したことで、図書館に行くことが減った人も少なくないでしょう。実際に市立中央図書館は、来館による貸出者数や貸出冊数は減少傾向にあります。一方で、市が始めた電子図書館の利用者数は増加。スマートフォンやタブレットでいつでもどこでも本を楽しめるのが現代のライフスタイルに合っていることが分かります。本は私たちの知識を深めたり、興味を広げたりして心の豊かさを育んでくれるものなのです。10月27日(金)〜11月9日(木)は読書週間。この機会に自分に合う形で図書館を利用してみませんか。多くの本の中から、お気に入りの1冊、自分を支えてくれる1冊に出会うことができます。ぜひ、きつとまた次の1冊を探してみてください。

